



### 1 計画の目的

近年、県内人口減少やマイカー利用の増加に加え、物価高騰や人件費の上昇による収支状況の悪化、さらには運転士・整備士不足といった課題が深刻化していることから、県内高速バスネットワークの縮小による地域間交流や観光振興への悪影響が懸念されます。

こうした状況に対応するためには、高速バスの利便性向上や情報発信等の取り組みを、官民が一体となって進めることが不可欠です。

このような背景を踏まえ、本計画では、県内主要都市間を結ぶ高速バスを地域の価値を高め、生活の質(QOL)を確保するための重要なツールと位置づけ、利便性の高い交通サービスの提供や情報発信の強化を通じて、多くの方に選ばれる移動手段としていくことを目指しています。

なお、本計画は、鉄道と高速バスの役割分担を踏まえつつ、既存の鉄道網を前提として、県内高速バスネットワークの将来像を示すものとしします。

### 2 本県の都市間高速交通ネットワークの目標像

区分	対象路線
県内高速バス路線 ※運行回数3回以上 輸送量15~150人	上越線 東三条線 柏崎線 五泉・村松線
県内高速バス路線 ※輸送量150人超	長岡線
県内高速バス路線 ※運行回数3回未満	燕線 十日町線 糸魚川線
市町村運行路線	村上市高速乗合 タクシー 阿賀町バス
高速道路	
鉄道(在来線)	
鉄道(新幹線)	

本計画の対象



※R8.2月時点  
※上越線、東三条線、柏崎線、五泉・村松線は地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統確保維持費国庫補助金)の対象路線

### 3 評価指標と目標値

計画の推進にあたっては、計画に定める基本理念並びに目標の達成に向けて、各事業にまたがる基本的な評価指標を設定し、行政や県内高速バス運行事業者など多くの関係者が共通認識をもったうえで、事業の実施、計画の進捗確認、評価・見直しを行っていきます。

指標	現況 (令和7年度)	目標 (令和12年度)
【1-1】 県内高速バスの年間利用者数	76.9万人	80.4万人
【1-2】 県内高速バスの収支率	83%	維持
【1-3】 県内高速バスに対する公的資金投入額	83百万円	維持

※集計は、バス年度(10月~9月)で算出  
※指標1-1の目標値は、R7年度(R6.10~R7.9)の県内高速バス利用者数をもとに新潟県の人口減少率を加味して設定  
※指標1-2の実績は事業者の路線ごとの収支データから算出する  
※指標1-3は、市町村補助、新潟県補助、国庫補助の運行継続に係る公的資金の合計(R8年2月時点の見込み)

### 4 課題・基本理念・目標・事業

#### 【基本理念】

「住んでよし、訪れてよしの新潟県」~新潟の人と地域をつなぐ、便利な県内高速バスネットワーク~

